

## 中部ブロック会議（令和元年8月22日 愛知県：ホテル名古屋ガーデンパレス）

参加者約130名を得て中部七県ブロック協議会第64回定期大会（愛知大会）を開催。大会テーマは「新たな時代への対応と人材育成」。

開会式では、まず市原康雄愛知県副会長から開会のことばが述べられた。国家斉唱に続き、実施県を代表して、小川明治愛知県会長が歓迎のことばを、中部七県ブロック協議会会長の長谷川雅敏三重県会長が主催者あいさつを述べた後、全専各連の福田益和会長のあいさつで重点課題にふれ、高等教育の負担軽減制度への申請、専門学校留学生の卒後の就労の在留資格の範囲拡大や手続きの簡素化、高大接続改革への全専各連としての対応等について言及した。次いで、来賓祝辞として赤池誠章参議院議員が先の選挙への支援についての謝辞、文部科学白書（高等教育のグランドデザイン）、高等教育の負担軽減制度、専門学校留学生の卒後の就労の在留資格の範囲拡大、社会人の学び直しへの対応等を述べた後、大村秀章愛知県知事（青山圭子愛知県副知事の代読）、廣野宏正文部科学省専修学校教育振興室長から祝意が述べられ、来賓紹介、祝電披露が行われ開会式を終了。

本会議では、議事録署名人の選出に次いで平成30年度事業報告及び大会テーマの提案説明が行われた後、文部科学省の概要説明となり、廣野室長が、高等教育の負担軽減制度、平成30年度文科省専修学校関係予算を中心に、高等学校等就学支援金制度、職業実践専門課程、学校評価の公開状況、「キャリア形成促進プログラム」の文科大臣認定制度、外国人の受入れ・共生のための総合的対応策等について解説し、本会議を終了した。

次に講演会では、2015年カンヌ国際映画祭のオープニングフィルムをかざった小説「あん」の原作者であるドリアン助川氏を講師として、『『生きることのもうひとつの意味』—小説「あん」でハンセン病回復者の人生を描いた理由—』をテーマに、執筆以前・執筆過程での苦難、療養所に入所していた当事者との出会いを機に構想が具体化していく過程、映画化の決定・上映後の反響など、助川氏が小説「あん」を通じて積み上げた生きることの真の意味について熱く語った。

閉会式では、大会宣言が提案され、原案どおり承認された後、長谷川中部七県ブロック協議会会長の主催者あいさつに続き、愛知県から静岡県への県旗引継ぎ、杉山誠一静岡県会長から次期開催県あいさつが行われ、奥居孝二愛知県副会長の閉会のことばをもって会議を終了した。

その後、会場を移して全専各連の概要説明となり、事務局が骨太の方針の意義、令和元年度運動方針（基本方針・重点目標）、「専門職大学制度の創設と専門学校振興の今後の方向性」、厚生労働省の民間教育訓練機関に対するガイドライン、高大接続改革の概要・対応の在り方等を説明した。その後、懇親会が開催され初日を終了した。

翌日はエクスカーションとして、名古屋市内のトヨタ産業技術記念館及びノリタケの森の視察が行われ、全ての日程が終了した。

なお、採択された大会宣言決議文は次のとおりである。

### 【大会宣言決議文】

第64回の中部七県ブロック協議会定期大会は、「新たな時代への対応と人材育成」が

大会テーマに掲げられ、参加会員校の皆さまの熱き思いが結集し非常に大きな成果を収めることとなりました。まさに新しい元号：令和がスタートした年に相応しい大会です。

まずは、職業実践専門課程に始まり高等教育の負担軽減制度に繋がる一連の流れやAI問題・外国人問題など、今後の業界の命運を握る新たな時代変化を確認し、我々に対する社会の期待の大きさとそれに答えるべき責任を明確にすることができました。

また、「“職業教育”と“人間教育”の両面」から行われる専修学校・各種学校の人材育成の手法が、如何に地域社会や国家にとって有用であるかも再確認できました。

我々には、長い歴史の中で培い、蓄えられてきた業界の大きな財産があります。その財産を新たな時代へ投資し、有効に活用すれば、大きな社会貢献がなされるだけでなく、会員校個々とそこに携わる多くの人々がより豊かになる時代をむかえるはずです。

そのために、本大会の成果と昨年秋の中教審の答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」を踏まえ、我々が時代の流れや社会のニーズを的確にとらえた舵取りができるよう次の5項目を決議します。

- 1 常に最先端の技術と時代対応力をもち、「超スマート社会（Society5.0）」の実現に寄与できる人材を育成・支援できる教育機関となる。
- 2 世界一の長寿社会「人生100年時代」に対応するため、リカレント教育の更なる充実を図る。
- 3 益々進展する「グローバル化」に対応すべく真の国際人を育成する。
- 4 少子高齢化・人口減少で変化する社会体制に対応するため、新しい教育システムの開発や新たな分野開拓に心血を注ぐ。
- 5 キャリア教育・職業教育の第一人者としての自覚と誇りを持ち、信頼のおける学校群として評価されるよう、情報公開と組織の健全化に努める。

令和元年8月22日

全国専修学校各種学校総連合会

中部七県ブロック協議会第64回定期大会（愛知大会）